

令和5年度 【 学園研究費助成金< B > 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ ミタ タカアキ
氏名 見田 隆鑑

研究期間 令和5年度

研究課題名 大学と地域が連携した地方仏の保存・活用に関する実践的研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	見田隆鑑	文化情報学部	准教授
研究分担者	柝窪優二	文化情報学部	教授

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字～300字程度で記述)

本研究では、大学と地域の博物館、あるいは行政の文化財担当部署が連携しながら、地域に伝わる仏像の調査研究およびデジタルデータの記録を行うとともに、その魅力を伝える映像記録を制作し、特に地域の博物館など社会教育施設で、デジタルデータや制作した映像記録を展示に活用することでの展示効果や教育普及の効果を検証する。博物館法の改正により、博物館における資料のデジタルアーカイブ化が博物館事業の一つに加わり、また地域の多様な主体との連携・協力を通して文化観光その他の活動を図り、地域の活力の向上に取り組むことが努力義務とされることから、こうした流れの中で大学と地域の博物館や文化財担当部署が協働で実施する文化財の保存・活用の可能性を実践的に検証する。

2. 研究の推進方策 (300字程度で記述)

本研究では、研究代表者（見田）が、地域の博物館もしくは行政の文化財担当部署の担当者と折衝し、共同研究全体の取りまとめを行う。仏像調査に関しては可能な限り実地調査を実施し、特に重要と判断される作品についてはより良い形でデジタルデータを記録し、地域の博物館もしくは文化財担当部署にも寄贈し、活用を図ってもらうようにする。また、映像ジャーナリズムを専門とする研究分担者（柝窪）と共同で、地域の歴史や地域に伝わる仏像の中から社会に広く情報発信すべき対象を選定し、映像記録を制作・公開する。制作した映像記録は地域の博物館にも提供し、展示活動の中で活用してもらうとともに、担当者へのヒアリングや利用者（視聴者）へのアンケート調査等を実施する。本研究に基づく調査・撮影によって得られた文化財のデータ及び成果物はすべて地域に還元する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

仏像の調査では、主に次の調査に関わった。(1)愛西市・養性寺の本尊・木造阿弥陀如来立像の胎内仏の調査、(2)高浜市・恩任寺の本尊・木造阿弥陀如来立像の調査、(3)名古屋市守山区・大森寺の仏像の調査。愛西市・養性寺の本尊胎内仏は、4月に行われる法要の際にのみ胎内から出される仏像で、この法要の機会に合わせて調査を実施し基礎データの記録と尊像の撮影を行った。調査報告及び尊像の写真データは愛西市生涯学習課に提供した。高浜市・恩任寺の木造阿弥陀如来立像は、恩任寺本堂の改修工事に合わせて修理がなされることとなり、修理方針の確認に合わせて尊像の基礎データの記録と現状の撮影を行った。調査報告及び写真データは、高浜市役所こども未来部文化スポーツグループに提供した。名古屋市守山区・大森寺の調査は、名古屋城西の丸御蔵城宝館で開催される展覧会に向けた名古屋城調査研究センターの調査に参加する形で行ったもので、大森寺所蔵の仏像及び高僧像など彫刻作品について基礎データの記録を中心に行った。具体的な調査対象についてはここでの記述は控えるが、次年度以降も引き続き調査研究を要する尊像を確認することができた。基礎データ及び調査の所見については名古屋城調査研究センターに提供した。映像記録の制作では、あま市・法蔵寺の鉄造地藏菩薩立像（鎌倉時代、重要文化財）の映像記録の制作を行い、映像記録を公開した。2024年3月に大府市・祖山寺の仏像に関する映像記録を撮影予定である。大府市では薬師寺の木造薬師如来立像（平安時代、大府市指定文化財）の撮影も予定し、ナレーションは収録を終えたが、尊像の修理の納期が次年度に遅れることになった為、今回の研究期間内には撮影・編集を実施することができなかった。次年度撮影が可能になったら速やかに作業を進める予定である。また、2024年2月25日と2024年3月3日に大府市歴史民俗資料館で、過去に制作した映像記録の上映会（「おおぶシネマパラダイス番外編仏像バーチャルミュージアム」）を実施することになり、ここで得られた意見なども今後の映像記録の制作に生かしていきたいと考えている。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①仏像	②文化財	③地域文化	④地域連携
⑤映像記録	⑥デジタルアーカイブ	⑦保存・活用	⑧文化資源

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

今年度調査に関わった作例については次年度以降に研究成果を報告する予定である。名古屋市守山区・大森寺の仏像調査については科学分析も可能であれば実施する必要がある作品を含んでおり、次年度以降も引き続き調査研究を継続していかれたらと考えている。
あま市・法蔵寺の鉄造地藏菩薩立像の映像については、下記のサイトで情報を公開した。
椙山女学園大学 YouTube https://youtu.be/FEwqZr_-3XY
地域文化・仏像バーチャルミュージアム
<https://bjvm.ci.sugiyama-u.ac.jp/worklist/Sculptures/013417.html>